

令和 2 年度

取組項目毎の主な実施内容 馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会

参考とした資料

資料 3 : 令和 2 年度主な実施内容及び今後の取組予定
(構成員毎)

資料 4 : 取組方針フォローアップ

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 洪水を河川内で安全に流す対策

青森県河川砂防課

○馬淵川河川改修事業の実施【継続】

- ・三戸町において駅前地区で用地買収、支川熊原川で築堤工事を実施し河川改修事業を継続実施

猿辺川（右岸築堤完成状況）

熊原川（黄金橋下流築堤完成）



青森河川国道事務所

●流下能力対策（河道掘削）整備



八戸市櫛引地内



八戸市櫛引地内

○河道内の堆積土砂対策を実施【継続】

- ・国土強靱化3カ年緊急対策事業・緊急自然災害防止対策事業・緊急浚渫推進事業(R2新設)による河道掘削を実施
- ・令和2年度は、馬淵川・浅水川・土橋川を対象に実施

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 防災行政無線の改良（デジタル化）

三戸町

○防災行政無線設備更新のための設計業務を実施

- ・ 設備の現状
昭和62年度運用開始。平成21年度に一部設備をデジタル化し、現在は、併用型設備として運用。
- ・ 整備概要
更新は、デジタル同報系無線QPSKナロー方式の設備へ更新。併せて移動系設備も更新予定。



既設設備

新郷村

○防災行政無線のデジタル化

屋外拡声子局21箇所の整備を行った。

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 水防活動を支援するための水防資機材等の配備

南部町

○災害時の際の備蓄品整備

- ・備蓄用アルファ米購入 900食

○自主防災組織の支援

- ・自主防災会へ新型コロナウイルス感染症対策の備蓄品配布(マスク・感染防護服・消毒液等) 69箇所

五戸町

○ライフジャケットの配備

近年大雨による災害が全国的に発生しており、人命を脅かすものとなっている。その際、河川氾濫が危惧される場所での巡視活動を安全に行うために消防団へライフジャケットを配備し、水防体制の強化を図った。



水防活動のためのライフジャケット

その他取り組み自治体
八戸市

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 まるごとまちごとハザードマップ等整備・拡充

八戸市

- まるごとまちごとハザードマップ標識の設置
 - ・ 八戸市洪水ハザードマップの更なる普及浸透、及び住民等の水害に対する危機意識の醸成を図ることを目的として、「まるごとまちごとハザードマップ標識」をJR八戸駅東口やJR長苗代駅、イオン八戸田向店など市内6施設に設置した。
 - ・ 「まるごとまちごとハザードマップ標識」には、大雨による設置箇所周辺の想定浸水深や指定避難所等の情報を取得できる二次元コードを掲載した。



J R 八戸駅東口



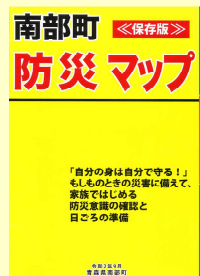
J R 長苗代駅



イオン八戸田向店

南部町

- 町防災マップの更新
 - ・ 想定最大規模の浸水想定区域等を反映したハザードマップの更新(洪水ハザードマップの修正)



五戸町

- ごのへ防災マップの作製
 - ・ 県が公表した浅水川と五戸川が氾濫した場合に想定される最大規模の浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の情報を示した総合的な防災マップを作成し、町内全戸へ配布。



田子町

- 田子町防災マップの作製
 - ・ 地域の浸水想定区域や土砂災害警戒区域と地震ハザードマップ、防災対策等の情報をまとめ、冊子版とした「田子町防災マップ」を作成。
 - ・ 地域での日ごろからの備えとしての参考に活用。

新郷村

- 防災マップの作成
 - ・ 最新の浸水想定区域(最大規模)等を反映した洪水ハザードマップと、土砂災害危険箇所等を示した「新郷村防災マップ」を作成



馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

八戸市

○ 要配慮者利用施設に対する洪水予報等伝達訓練の実施

- ・ 災害時に確実に情報伝達を行うことを目標に、洪水浸水想定区域内にある要配慮者利用施設(235施設)を対象にメール、FAXの配信訓練を実施。

その他取り組み自治体

三戸町、南部町、五戸町、田子町

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 大規模水害を想定した緊急排水計画(案)を作成

青森河川国道事務所

●緊急排水計画(案)の作成

馬淵川における大規模氾濫を想定し排水ポンプ車による緊急排水計画の検討を実施

その他取り組み自治体

八戸市、南部町、青森県河川砂防課



タイムラインに基づく首長及び住民等も参加した実践的な訓練

三戸町

○感染症対策に対応した避難所運営訓練の実施

令和2年7月に策定した「三戸町新型コロナウイルス感染症避難所運営マニュアル」に基づいた訓練を実施。

実施日：令和2年10月10日（土）

場 所：アップルドーム（指定避難所）

参加者：町職員等 約100名



南部町

○南部町避難所開設・運営訓練実施

実施日：令和2年7月21日（火）

参加者：青森県、自衛隊、消防署員、自主防災組織、
八戸圏域水道企業団ほか
参加者総数 60名

訓練内容

新型コロナウイルス感染症に備えた

避難所開所までの手順確認

避難所内の設営（感染症対策のレイアウト）

発熱者への対応 ほか



その他取り組み自治体

八戸市、五戸町、青森地方気象台、青森県河川砂防課、青森河川国道事務所

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 水防団や地域住民が参加する「洪水に対しリスクが高い区間」の共同点検

青森県河川砂防課

○重要水防箇所の手合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の手合同巡視を継続実施
- ・令和2年度は、熊原川（三戸町）を対象に書面開催

その他取り組み自治体
八戸市、南部町

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 水防団員募集広報の充実

南部町

○水防（消防）団員の募集

町広報誌及び町ホームページへ水防（消防）団員募集記事掲載

その他取り組み自治体
五戸町

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 水防災に関する説明会等の開催

田子町

○自主防災体験研修会(共催 青森県)

自治会及び自主防災会を対象に、防災に係る基礎知識の習得、防災活動の参考となる事項の確認等を目的とし、講師による講演・災害図上訓練D I Gを実施。



その他取り組み自治体

南部町、青森地方气象台、青森県河川砂防課、青森県防災危機管理課、青森河川国道事務所

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 小・中学生を対象とした防災教育の実施

青森県防災危機管理課

○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少に対応できる地域防災体制を構築するため、次代を担う子どもたちを対象とした防災教育活動支援ツールの検討及び試行を実施し、その結果を踏まえた上で、ツールを制作
- ・防災全般に関する出前講座を計4回開催（約100人聴講）



青森河川国道事務所

●防災教育の支援



その他取り組み自治体

八戸市、南部町、青森地方气象台、青森県河川砂防課、青森県防災危機管理課、青森河川国道事務所

馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会 出前講座等を利用した講習会の実施

青森県防災危機管理課

- ・ 自主防災組織未設立町会の役員等を対象とした研修会を計7回開催（約250人受講）
実施内容：自主防災組織の役割と活動に関する講演、災害図上訓練DIG
- ・ 防災活動をけん引できる指導者的人財を育成し、課題や取組を共有してもらうため、地域防災活動ネットワーク研修会を開催（3地区×2回）

その他取り組み自治体
八戸市、南部町、田子町

青森地方気象台

地域防災力の強化

市町村との顔の見える関係を継続・強化、防災に関する知識の普及啓発

平時

- 市町村訪問等により「顔の見える関係」を構築
- 災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練へ積極的に協力
⇒訓練シナリオ作成、ワークショップ、勉強会等
- 地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力
- 日頃からの予報官コメントやメール等による解説
- 協議会等との日頃からの連携

緊急時

- 台風等説明会
- 予報官コメント、ホットライン
⇒利用者の立場に立った、情報提供
- JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣
⇒気象台職員を迅速に派遣